

備前市施策評価シート

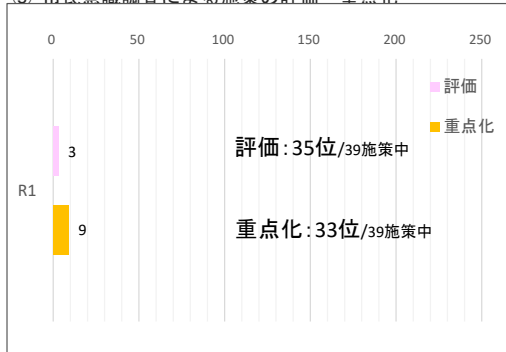
【平成31年度作成】

施策名 (小項目)	斎場の運営と墓地の整備	決算書 P124	(款)4 衛生費(項)1 保健衛生費 (目)3 環境衛生費
コード	05-09-38	作成者	環境課長 久保山 仁也 (tel 64-1821)
この施策の アピール ポイント	火葬場の運営は、止めることができない施策であり、今後も継続して支障を起こさないように努める。 墓地需要は、継続してあるため、市民ニーズを把握しつつ、適正管理に努める。		
この施策の 平成30年度の 施政方針	なし		

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	05 生活環境政策「快適・活力」
	基本計画 (中項目)	09 環境を大切にして未来につなぐまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参列者に清潔な環境を提供しながら火葬を執行する ・ 地域のニーズに応じた、市民が利用しやすい墓地を供給する ・ 衛生的な環境(公衆衛生)を保つ 	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	斎場は備前地域と日生地域にあり、現在は、主にそれぞれの地域で使用されています。吉永地域については、和気北部衛生施設組合の施設を主に使用していますが、今後の斎場の在り方について、統合も含めた検討を進めていく必要があります。適正な火葬執行に努めています。運営体制だけでなく維持管理費等コスト面から考えると旧市町の体制を継続していることが課題となっています。墓地については、市営墓地として13箇所1,470区画を整備していますが、将来の需供を見極めながら整備を進めていくことが必要です。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斎場の適正な運営 ・ 斎場の施設整備 ・ 墓地の管理 ・ 市営墓地の整備 	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



評価結果の分析
火葬場は無ければ困り、火葬の際は近くがよいが、煙害等は困るので離れた場所が良いという状況の中で、現在の火葬運営は可もなく不可もなくといったところで、評価は低くなっているのではないかと考える。今後は効率的な運営が必要と考える。

重点化要望の分析
墓地については、昨年度から返還が増加しており、市外にいて墓地管理ができない等、利用形態が変わってきている。市民ニーズを把握する必要がある。

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

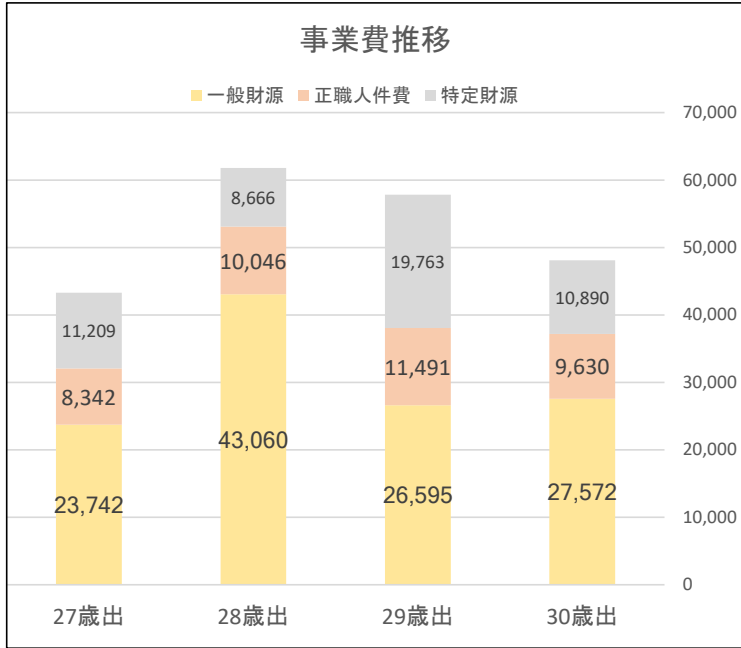
施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値
		H28	H29	H30			
成果指標 市有墓地の区画数	目標	1,500	1,500	1,500	現有の市営墓地区画数	R2 R4	1,500 1,550
	実績	1,470	1,470	1,470			
	達成率	98.0	98.0	98.0			
	ベンチマーク						
参考指標① 備前斎場の1件あたり執行経費	目標	80,000	80,000	80,000	施設維持管理費/火葬執行件数	R2 R4	80,000 80,000
	実績	84,452	67,480	48,762			
	達成率	94.7	118.5	164.1			
	ベンチマーク						
参考指標② 日生斎場の1件あたり執行経費	目標	85,000	85,000	85,000	施設維持管理費/火葬執行件数	R2 R4	85,000 85,000
	実績	85,656	90,826	100,671			
	達成率	99.2	93.7	84.4			
	ベンチマーク						
参考指標③ 和気火葬場の1件あたり執行経費	目標	95,000	95,000	95,000	施設維持管理費/火葬執行件数	R2 R4	95,000 95,000
	実績	98,808	86,576	77,260			
	達成率	96.1	109.7	123.0			
	ベンチマーク						
参考指標④ 祭壇飾付+霊柩車運行件数	目標	-	-	-	祭壇飾付と霊柩車運行実績件数	-	- -
	実績	14	6	14			
	達成率						
	ベンチマーク						
参考指標⑤	目標						- -
	実績						
	達成率						
	ベンチマーク						

⑦ 目標達成に必要な新規事業(施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
民間	斎場運営事業の委託	葬儀は、民間事業者で行っているケースが多くなっており、斎場の運営についても将来的には委託も視野に入れた検討が必要と考える。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	市が主体となって、火葬場の維持管理を行い、墓地需用については民間事業者の動向も見極めつつ、公衆衛生を守っていく必要がある。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	墓地については、需要と供給のバランスを見ながら、民間事業者とも協力しながら公衆衛生を守っていく必要がある。火葬場については、市が主体となり、支障を起こさないように適正な維持管理が必要である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	墓地整備については、民間事業者による整備も行われており、引き続き需要バランスを見ながら、整備も必要に応じて進める必要がある。	
進行年度(H31年度)の取組内容 (課題解決状況)		斎場管理運営については環境に配慮した運営とし、また今後の斎場の在り方については、統廃合に向けた協議を進めていく。	
翌年度(R2年度)の取組目標		備前斎場、日生斎場、和気北部衛生施設組合の和気火葬場の今後の在り方、効率的な施設の運用を検討していき、各関係者と協議をしていく必要がある。	
二次評価者コメント		斎場については、備前斎場の炉の大型化とガス化を行なっており、和気北部衛生施設組合火葬場の動向を踏まえ、今後の高齢者数のピークとそれ以後の減少を視野に周辺環境の維持と火葬効率の適正化を図っていく必要がある。墓地については、管理者が遠方であることから用地の返納も考慮し、早期の募集による墓地供給を行う必要がある。	基本施策への 貢献度 3 中立
役職	市民生活部長		
氏名	今脇 誠司		



事業費
特定財源

0.5 億円
1.1 億円

